

借 家 人 補 償 金 算 定 表

氏 名	返還されない一時金に係る補償額 ①	返還される一時金に係る補償額 ②	家賃差に対する補償額 ③	消費税等抜き補償額 ①＋②＋③	消費税等相当補償額	補 償 金

① 返還されない一時金に係る補償額算出表
建物番号：

借家面積 A	標準家賃単価 (円/㎡) (月額) B	標 準 家 賃 (月額) C = A × B	補償月数 D	補 償 額 C × D	摘 要

(備考) 1 借家面積について、面積狭小等であるための補正がある場合は、「従前の借家面積を補正した面積」と「借入可能な最小限の面積」を比較し、小さい方を借家面積とする。
2 「高齢である等の事情があるため生活圏が限定され当該生活圏外への転居が著しく困難と認められる」者が借家又は借間している場合には、摘要欄にその理由（「高齢者」「障害者」等）を記載する。

② 返還される一時金に係る補償額算出表
建物番号：

借家面積 A	標準家賃単価 (円/㎡) (月額) B	標 準 家 賃 (月額) C = A × B	補償月数 D	返還見込額 E	年利率 r	貸借期間 n	補 償 額 $(C \times D - E) \times \frac{(1+r)^n - 1}{(1+r)^n}$	摘 要

(備考) 1 借家面積について、面積狭小等であるための補正がある場合は、「従前の借家面積を補正した面積」と「借入可能な最小限の面積」を比較し、小さい方を借家面積とする。
2 「高齢である等の事情があるため生活圏が限定され当該生活圏外への転居が著しく困難と認められる」者が借家又は借間している場合には、摘要欄にその理由（「高齢者」「障害者」等）を記載する。

③ 家賃差に対する補償額算出表
建物番号：

借家面積 A	標準家賃単価 (円/㎡) (月額) B	標 準 家 賃 (月額) C = A × B	現 在 家 賃 (月額) F	家 賃 差 額 G = C - F	補 償 年 数 (月) H	補 償 額 G × H	摘 要

(備考) 1 借家面積について、面積狭小等であるための補正がある場合は、「従前の借家面積を補正した面積」と「借入可能な最小限の面積」を比較し、小さい方を借家面積とする。
2 「高齢である等の事情があるため生活圏が限定され当該生活圏外への転居が著しく困難と認められる」者が借家又は借間している場合には、摘要欄にその理由（「高齢者」「障害者」等）を記載する。